

## ■ ぐあいさつ



経営管理委員会会長

中川 泰宏



代表理事理事長

高見 裕昭

みなさまには、日頃より京都府信用農業協同組合連合会（JAバンク京都信連）をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

当会は、1948年の設立以来、府内JAと一体となって、府内農業の発展を金融面から支援させていただくとともに、組合員・利用者のニーズに応え、地域社会の発展に役立つ金融機関を目指し、業務展開を図ってまいりました。

この冊子は、2020年度の当会の事業概況や経営状況、業務内容等を取りまとめ、利用者のみなさまに当会に対するご理解を一層深めていただくために作成いたしました。ご一読いただければ幸いに存じます。

さて、2020年度のわが国の経済は、新型コロナウイルスのパンデミックにより、大きく後退しておりましたが、米中向け輸出による製造業の生産活動の活性化に加え、財政政策、金融政策が下支えとなり、国内景気の持ち直しの動きにつながりました。しかし、再び感染が拡大し、緊急事態宣言が各地で発令されるなど先行き不透明感が高い状況にあります。

農業情勢につきましても、コロナ禍で外食需要が低迷したことによる農畜産物の販路縮小、農業従事者の高齢化と担い手不足、有害鳥獣による農作物への被害の拡大など多くの課題を抱えております。

こうした中、当会はJAと一体となり、農業者所得および生産性の向上、新規就農者の育成による担い手確保等の一助となるよう「農業・農業者応援プラン」を展開しています。

2021年度は金融、農業を取り巻く環境は厳しい状況が続くと予想されますが、JAバンク京都が農業者・利用者から一層必要とされる存在となるため、役職員一丸となり、農業振興や地域の活性化に貢献する事業展開を取り進めます。

今後とも格別のご支援・ご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2021年7月

経営管理委員会会長  
代表理事理事長

中川 泰宏  
高見 裕昭